



風車 (かざぐるま)



～万葉テラスだより～

平成 29 年 7 月 第 4 号

7月になり、いよいよ暑さの厳しい季節となりました。気候の変化がありますので、皆さん体調管理には十分に注意してください。6月に万葉テラスで行ったイベントの紹介と、言語聴覚士による誤嚥防止案内を掲載しておりますので、参考にいただければ幸いです。

～イベント紹介～

4F 入所フロア

今月は、6月16日（金）に誕生日会を行いました。企画内容は、的当てで、具体的には、傘にガムテープを丸めて貼り付け、利用者様にお花紙で作ったボールを投げて、接着させていくゲームです。2チームに分かれての対抗戦で、どちらが多く貼り付けることが出来たかを競い合いました。職員は、透明のゴミ袋にカエルを貼り付けた衣装を身に纏い、傘については『あじさい』、職員は『蛙』に見立て、全体で『梅雨』をイメージし、両チームとも白熱した戦いが繰り広げられ、見事なあじさいの花が戦いの後の場を和ませてくれた誕生日会でした。



通所リハビリテーション



6月は、梅雨のジメジメを吹き飛ばそうゲームをしました。ペットボトルにカエルの絵を貼り付け、梅雨のイメージを出し、ボーリング形式でペットボトルを並べボールを転がし倒すというゲーム内容です。梅雨のジメジメを吹き飛ばす勢いで皆さんボールを投げてペットボトルを倒しておられました。ペットボトルにはカエルの絵と共に、点数も記入しているので、皆さん高得点を取ろうと頑張ってボールを3球投げて頂き、1位2位3位とブービー賞の4名の方に、梅雨にちなんで、除湿

剤やファブリーズ、カエルのゴミ箱などの景品を贈呈しました。

皆さん、喜ぶというより爆笑してお持ち帰りいただきました。

皆さん楽しんで参加して頂き、梅雨のジメジメを吹き飛ばそうゲームは幕を閉じました。

誤嚥と御縁の無いように ～リハビリ室より～

誤嚥とは

食べ物や唾液は、口の中から咽頭と食道を通過して胃へと運ばれます。

しかし、何らかの原因によって、食べ物や唾液が誤って**気管**に入ってしまうことがあります。

これを誤嚥といいます。

誤嚥とよく似た言葉に誤飲がありますが、誤飲は食べ物以外の物(例:ボタン電池、洗剤など)を飲み込んでしまうことをいいます。

誤嚥の症状

誤嚥すると**むせる**、**咳き込む**という症状がみられます。これは**咳反射**と呼ばれ、食べ物や唾液などを**気管から排出しようとする防御反応**です。

咳反射の低下によって誤嚥してもむせないことがあるため、むせない＝誤嚥していないとはいえません。食事前後に**声質が変化していないか**、**痰の量が増加していないか**などに注意することも大切です。

誤嚥性肺炎とは

誤嚥によって引き起こされる肺炎を**誤嚥性肺炎**といいます。

誤嚥性肺炎は誤嚥すると必ず発症するというわけではありません。誤嚥物の量や内容、咳の強さ、全身の体力・免疫力、それらのバランスによって肺炎になるかならないかは左右されます。

誤嚥の予防法

誤嚥を防ぐためには、**食事姿勢**、**一口量や食べるスピード**、食材の大きさや硬さなど**食事内容**、**清潔な口腔内環境の維持**などに注意することが大切です。

また、必要に応じて増粘剤(トロミ剤)を使用することも誤嚥予防に有効です。



リハビリ室 言語聴覚士 森里枝

 <p>医療法人 南風舎</p>	<p>〒634-0832 奈良県橿原市五井町 247</p> <p>介護老人保健施設 万葉テラス</p> <p>Tel : 0744-26-2288 Fax : 0744-26-2277</p> <p>入所 80 床 (全床認知症専門棟) 通所リハビリテーション 40 名</p>	 <p>介護老人保健施設 万葉テラス</p>
---	---	---